

大多喜町第4次総合計画基本構想（案）に対する意見の概要

- 1 実施期間 令和7年6月11日(水)から令和7年7月10日(木)
- 2 意見件数 14件(4人)
- 3 意見提出方法 書面1人、電子メール3人

※ 総合計画基本構想（案）に対する意見の概要を掲載しています。

No.	意見の概要
1	<p>第2編 V 基本目標 基本目標V 人を育み若者を育てるまちづくり【教育・文化】 基本目標VI 子育てしやすく健康で人にやさしいまちづくり【健康・福祉】 大変すばらしい目標だと思います。</p>
2	<p>全体 抽象的な一般うけする言葉をならべているだけではないでしょうか？行政が作ったこのような抽象的な内容の総合計画ではダメです。いざという時に、まったく機能しません。もっと具体的な案を示してほしいと思います。</p>
3	<p>第1編 IV 社会潮流からみた大多喜町の分野別課題 4 地方自治の変革 ② 住民のつながりと地域力の強化 この見解には同感する。孤独死や自死者がおり、隣人に関心を持つことが求められる。これは単に意識の変化を求めるのみには難しく、何らかの組織的変革、例えば定期的な集会（若者サークル、女性サークル、シニアサークル）などをつくって情報交換がしやすい組織づくりを推し進めなければならないのではないかと。</p>
4	<p>交通の便について 生活するには先ず足である。調査でも交通の便の充実が挙げられている。交通手段が確保されるとその地域は発展する。現在の乗合バスでは不十分である。いすみ市では常時市民バスを運行している。常時動くことが重要である。移住を勧めるにしてもこれは欠かせない。</p>
5	<p>商業について 生活基盤の拡充と健康福祉が重要であることは自明だが、移住者促進にもこれらが重要である。また、商業施設は拠点化が好ましい。上総中野駅の前に目的を定めず建物を建てると言う案があったらしい。目的を後で決める方針が災いしたのか消えたという。中野地区に商業施設はほとんどなく、ここに昼間だけのコンビニ的施設をつくれれば地域の活性化にも観光旅行者も便利になる。 地域の個人経営の店舗や移動販売もなくなってしまい、高齢者は困っている。コンビニすらない。中学校は旧大多喜町地区1校に集約され、小学校も危機に瀕している。町は提案に言う市街地ゾーンに総てを集めようとしているのか。旧村落に1つずつ商店をつくるか、デリバリー販売制を取り入れるなどの工夫をして欲しい。誰かがやるのを待っているのではなく、町が立案して参加者を募るなどの積極性をを見せてほしい。</p>
6	<p>第2編 基本構想 誰もが住みやすい町は、交通、商店、医療が充実していることである。いずれも現在の町には十分ではない。</p>
7	<p>第2編 基本構想 IV 土地利用の方向性 市街地、集落、農業、工業、観光・交流、森林保全・資源活用ゾーンとしていますが、「ゾーン」の意味がよく分からない。ゾーンは区域、地域をあらわす言葉です。まさか心理的な意味での言葉の使い方ではないと思いますが。大多喜町はゾーンに分類できるような状態にはないでしょう。例えば当区はどのゾーンに入るのですか。住民を市街地ゾーンに集めようとするのですか。移住者の多くは田舎性を求めて希望するものではありませんか。市街地に住みたいなら千葉や東京に住むことを選択するでしょう。</p>

	<p>第2編 基本計画 V 基本目標 基本目標 I 多様性を認め合い自分らしく暮らせるまちづくり【地域自治・行政運営】</p>
8	<p>「多様性を認め合い」の多様性の意味が不明である。もう少し説明が必要であろう。スマホで検索すると「ある集団や組織の中に、性別、年齢、人種、国籍、宗教、価値観など、様々なバックグラウンドや特性を持つ人々が共に存在し、それぞれその違いを認め合い、尊重しあう状態のこと」と書かれている。提案でいう「多様性」とは属性の多様性か、経験の多様性か、思考の多様性か、どういう多様性が論点を絞って問いかけてほしい。ただ多様性では範囲が広すぎて意図するところが分からない。</p>
	<p>意見聴取（パブリックコメント）の方法について</p>
9	<p>こうした案件に意見を求めるなら、少なくとも1戸に1冊配る必要があると思います。どれだけの人がスマホやパソコンで読もうとするのでしょうか。まさかアライバイ主義で意見を求めているのではないのでしょうか？ 私も55ページをプリントアウトして漸く読みこなしました。ただ全文は町としても大変でしょうし、読む方もきついです。第2篇以降だけでも、2、3ページに要約したものを全戸に配布して意見を求めてください。詳細は町で何部か用意して、貸し出せるようにしておくのも方法です。本気で意見を求めるならそうした配慮は必要ではありませんか。</p>
10	<p>全体 住民意識調査や、高校生も参加した住民公聴会の意見が反映されたよい基本構想である。</p>
	<p>協働のまちづくりについて</p>
11	<p>人口減少や高齢化が進むのは大多喜町だけでないのでは仕方ないと思います。今後考えていかななくてはならないのは、いかに人口減少の速度を遅く、またそれをある程度で食い止める施策を皆で考えることだと思います。 若い人が住め、生活出来る町にして欲しいと考えます。仮に学校や勤務先が町外であっても、住むのは大多喜町が良いという環境にしていきたいと思います。 そのため、若い人や行政だけにその責任を担わせるのではなく、今住んでいる私たちが、自分たちがやれることは自分たちでやる、出来ない部分を若い人や行政にお願いする「協働のまちづくり」が大切であると考えます。 子どもも働く世代も、高齢者も皆が一堂に会し意見を出す、そして同じ目標に向け活動するそんな基盤（根幹）をこの計画で書いて欲しいと真剣に願います。 町には有能な方が沢山居て、素晴らしい意見をお持ちだと思いますので、住民公聴会を沢山開き、町長は「町だけでは何も出来ない、町民の皆さん協力してください」宣言をしてください。 私たち町民も何もせず「補助金をください。役仕事を減らしてください。〇〇をしてください。」とは言いません。行政だけに責任は負わせません。そのために、町議会議員も私たち住民も居るのですから。</p>
	<p>全体</p>
12	<p>町に関する多方面の分野における方針を丁寧にもとめていただき感謝しております。10ヵ年計画の大元として作成されたということで、全体の方向性については特に異論ございません。 しかしながら、この方針に辿り着いた裏付けとして町の現状、社会潮流からみた大多喜町の分野別課題だけでいいのかと感じています。具体的には、町政としてこれまで取り組んできたことについての言及が少ないと感じました。</p>
	<p>全体</p>
13	<p>今回第4次総合計画ということですので、過去30年近い諸問題に対し同じように計画を立てそれに対して取り組まれてきたと存じます。以前から同じ問題があったのであればそれに対してこれまでどのように取り組んできて、それは効果があったのか無かったのか、あったのならどのくらい効果があって今後も同じ形で継続すべきなのか。その部分をもう少ししっかりと検証していくべきだと考えます。</p>

14	<p>全体</p> <p>第3次、それ以前の計画に対する結果報告書はあるのでしょうか。あるのであれば見つけられず申し訳ございません。ぜひ分かりやすくご提示いただき、今回の総合計画における基本計画や実施計画策定の際に参考にできれば幸いです。</p> <p>人口減少に伴って、町の税収も人的リソースも限られてきていると思います。適切な取り組みに予算、人材を割く必要があると思います。より効果的な総合計画となりますことを、町民の一人として心より願っております。</p>
----	--